

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ・町内の小・中・高等学校で入学式
- ・転入教職員歓迎式を開催
- ・児童生徒「学習・生活・運動習慣」向上運動について
- ・エレンさんの英会話教室
- ・青少年センターからのお知らせ
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介
- ・スポーツセンター・スタードームの利用について

町内の小・中・高等学校で入学式

4月に入り、肌寒い日はあるものの、日を追うごとに日差しが春らしくなってきました。4月初旬、大きなランドセルや大きめの制服を身につけた新1年生の入学式が町内の各学校で行われました。

今年は小学校で35人、中学校で41人、厚真高校で37人の計113人の1年生が入学し、大きな希望を胸に抱きながら、学び舎(や)への第一歩を踏み出しました。学校別では、厚真中央小が18人、上厚真小が17人。中学校では、厚真中が28人、厚南中が13人となっています。

一方、暖かくなるにつれて、子どもたちが屋外で活発な活動をする季節にもなってきました。各学校では、校区内の危険な場所を示したマップの作成をするなど、事故の未然防止に努めています。保護者や地域の皆さんも、日ごろから子どもたちの交通事故防止や、池や川・用水路などによる事故防止に向けた、十分な指導をお願いします。

また、教育委員会と青少年健全育成委員会では、町内の全家庭・全事業所に依頼しての、『子どもを変質者から守るひなんの家』運動や、町内全域が子ども110番の実施地区であることを示す【子ども110番パトロール地区】の看板設置など、関係各方面と連携しながら子どもの見守りに取り組みます。

今一度、子どもの安全について各家庭・地域で再確認し、未来を担うかけがえのない子どもたちを守り育てていきましょう。



中央小学校入学式(4月7日)

12人が新たに着任！

転入教職員歓迎式を開催

4月1日付けで町内の各小中学校の教職員人事異動があり、9人が転出され、12人が新たに着任しました。4月3日には、青少年センターで『転入教職員歓迎式』が開催され、宮坂尚市朗町長、三國和江町議会副議長、佐藤泰夫教育委員長、教育委員などが出席。宮坂町長による町のイラストマップを使ったまちづくりの紹介などが行われました。転出、転入された教職員は次のとおりです。

転入【敬称略】

厚真中校長	渋川 賢一(空知教育局教育支援課長)
厚真中央小教頭	猪俣 俊哉(苫小牧市立泉野小)
厚南中教頭	福田 透(苫小牧市立樽前小)
厚真中央小教諭	藤原 学(安平町立安平小)
厚真中央小教諭	村山 典聡(新採用)
厚真中央小教諭	白石 あや(安平町立安平小)
上厚真小教諭	飛岡 枝里(むかわ町立鶴川中央小)
厚真中教諭	遠藤 直葉(白老町立白翔中)
厚真中教諭	咲間 博輝(苫小牧市立青翔中)
厚真中教諭	工藤 明子(むかわ町立穂別中)
厚真中教諭	高橋 ひとみ(斜里町立ウトロ中)
厚真中教諭	五明 大樹(新採用)

転出【敬称略】

厚真中校長	石脇 正彦(苫小牧市立凌雲中)
厚真中央小教頭	吉岡 ゆかり(苫小牧市立拓進小)
厚南中教頭	山田 誠一(室蘭市立港北中)
厚真中央小教諭	長田 拓生(苫小牧市立明野小)
厚真中央小教諭	池田 佳(苫小牧市立錦岡小)
厚真中央小教諭	石川 裕貴(登別市立登別小)
上厚真小教諭	佐野 富美子(苫小牧市立若草小)
厚真中教諭	柳本 大輔(苫小牧市立沼ノ端中)
厚真中教諭	道源 由加里(苫小牧市立啓明中)



みんなで育てよう 厚真の子ども

- ・4月から、児童生徒「学習・生活・運動習慣」向上運動が始まります。
- ・家庭で「インターネットに接続するメディア」利用のルールを作りましょう。

1 ルールづくりのポイント

(1) ルールの必要性を子どもに十分理解させましょう。

- ・社会性が十分身についていない状態の子どもを、メディア依存や犯罪、事故などから守るためにルールが必要です。ルールは、子どもが自分自身をコントロールする力をつけるためにも必要です。

(2) 子どもが納得する内容のルールを作りましょう。

- ・保護者が一方的にルールを押し付けても、子どもは納得しません。親の意見と子どもの意見をすり合わせ、子どもと相談しながら、子どもが納得する内容でルールを作りましょう。

(3) 子どもが守りやすいルールを作りましょう。

- ・子どもと話し合いながら、子どもが実行できるような無理のない具体的なルールを作りましょう。

(4) ルールが決まったら、書面に明記して掲示しましょう。

- ・ルールが決まったら、子ども自身に書面に書いてもらいましょう。
- ・家族がいつでも確認できるように見やすいところに張りましょう。

2 決めたら、守らせましょう。

- ・子ども自身が納得したルールを、保護者が毅然とした態度で、継続的に守らせるようにしましょう。
- ・子どもが失敗しても、絶対に怒らず、いつでも子どもが相談できる雰囲気を作りましょう。

3 定期的な話し合いを

- ・子どもと一緒に定期的にメディアの利用状況を確認しましょう。
- ・ルールが守られているか、ルールの運用に課題がないかなどを、定期的に話し合うことが重要です。

4 守れなかったときの約束を

- ・ルールを守れなかったときの約束を、子どもが同意する形でしっかり決め、書面に明記させましょう。
- ・1回守れなかったら〇〇、2回守れなかったら〇〇などと、ペナルティの内容を段階的に決めてもよいでしょう。

5 ルールの見直しを

- ・ルールは、メディアの利用状況や毎月の利用明細などを参考に定期的に見直すことも必要です。

エレンさんの英会話教室

アメリカ出身の町ALT(外国語指導助手)エレン先生による5月から7月期の英会話教室の受講生を募集します。

日 程 5月12日【火】から7月14日【火】

毎週火曜日 午後6時から7時

場 所 青少年センター2階 研修室

対 象 英会話に興味のある中学生以上の町民の方

内 容 英会話や筆記を交えながら、外国の文化や生活習慣等について学びます。

申込み 教育委員会 社会教育グループ

問合せ Tel27-2495 担当:辻

※受講を希望される方は、必ず申込みをしてください。



3月臨時・定例教育委員会

3月12日に開催された臨時教育委員会及び3月26日に開催された定例教育委員会の主な会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

平成27年度4月1日付教職員人事の内示について(1件/臨時教育委員会)修学旅行の引率業務等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部改正について、教職員の辞令交付伝達式及び転任教職員の歓迎式、パークゴルフ場オープン予定、放課後子ども教室報告会、鹿沼 長門茂明さんから長いも・にらを学校給食センターに寄贈など(6件/定例教育委員会)

◆議案

平成27年度厚真町公立学校教職員人事の内申について、厚真町民に対する体育振興及び文化振興行事参加費用助成金交付基準の取り扱いの一部改正、厚真町民に対する体育振興及び文化振興行事参加費用助成金交付基準の取り扱い運用の一部改正について(3件/臨時教育委員会)厚真町社会教育委員の会議に関する規程の一部改正、学校給食受配校の管理マニュアルの改訂、教育委員会事務局職員の人事について、(3件/定例教育委員会)

★問合せ 教育委員会 学校教育グループTel27-2494

厚真町スポーツセンター・あつまスタードーム利用案内

- ◆特徴 四季を通じて利用できる屋内運動場です。町内外を問わず大勢の人たちで賑わっています。スポーツ団体の練習や大会・合宿等にも利用されています。
- ◆開館時間 平日・土曜日 8:45～21:00
日曜・祝祭日 8:45～17:00
- ◆休館日 年末年始（12月31日～1月5日）



◆施設内容

スポーツセンター	アリーナ 1,250 m ² 、バトミントン6面、卓球12面 バスケット・バレーボール・テニスコート各2面
あつまスタードーム	アリーナ 2,400 m ² 、ゲートボール4面、テニスコート3面 フットサル2面、柔・剣道場各1面、弓道場(3人立)、トレーニング室

◆利用方法

- 一般（個人）利用 ＊町民は随時受付で使用料は無料（ただし、大会・合宿等が入った場合はお断りする場合があります）
＊町民以外は、2カ月前の月の1日から受付
＊使用申請書に必要事項を記入の上、受付窓口へ提出
- 専用（団体）利用 ＊町民は随時受付で使用料は無料（ただし、大会・合宿等が入った場合はお断りする場合があります）
＊町外の団体は、2カ月前の月の1日から受付
＊使用申請書に必要事項を記入の上、受付窓口へ提出
＊団体での使用は、10名以上
- 大会・合宿等利用 ＊町民は随時受付で使用料は無料
＊町外の団体で、規模が50人未満の場合は5カ月前の月の1日から受付
ただし、合宿等で町の施設等に宿泊する場合は、6カ月前の月の1日から受付
＊町外の団体で、規模が50人以上の場合は、1年前の月の1日から受付
＊使用申請書に必要事項を記入の上、プログラムと合わせて受付窓口へ提出



◆電話予約受付（2施設共通）

電話で予約ができますが、許可証の発行をもって決定しますので、『使用申請書』は必ず、提出してください。

◆使用料

【スポーツセンター】

1時間当り

区分				夏 期 使用料	冬 期 使用料
団 体	アリーナ	全面 使用	大学・一般	1,620	2,100
			高校生	1,220	1,580
			小・中	1,020	1,320
		1/2 使用	大学・一般	810	1,120
			高校生	610	810
			小・中	510	710
		1/6 使用	大学・一般	400	520
			高校生	300	400
			小・中	200	260
		会 議 室			300
個 人	アリーナ	大学・一般	200	300	
		高校生	150	200	
		小・中	100	150	

（夏期：5月～10月 冬期：11月～4月）

【スタードーム】

1時間当り

区分				夏期 使用料	冬期 使用料
団体	アリーナ	全面 使用	大学・一般	2,440	3,260
			高校生	1,830	2,440
			小・中学生	1,530	2,040
		1/2 使用	大学・一般	1,220	1,630
			高校生	910	1,220
			小・中学生	810	1,120
		1/3 使用	大学・一般	810	1,120
			高校生	610	810
			小・中学生	510	710
		1/4 使用	大学・一般	610	810
			高校生	510	710
			小・中学生	400	610
	柔剣道・ 弓道場等	大学・一般	2,140	2,850	
		高校生	1,830	2,440	
		小・中学生	1,220	1,630	
ミーティング室				400	610
個人	アリーナ	大学・一般	200	300	
		高校生	150	200	
		小・中学生	100	150	
	柔剣道・ 弓道場等	大学・一般	200	300	
		高校生	150	200	
		小・中学生	100	150	
	トレーニング室	大学・一般	200	200	
		高校生	100	100	
	トレーニング室 利用回数券	大学・一般	11枚綴り 2,040円		
		高校生	11枚綴り 1,020円		

◆問合せ

厚真町字本郷234番地の6
TEL：0145（27）3775
FAX：0145（26）7015

「スポーツセンター・スタードーム利用予定表」「使用申請書は、スポーツセンター窓口

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)



本は キラキラ 万華鏡

こどもの読書週間 4月23日～5月12日 (20日間)



「子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所を」との願いから、「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)に誕生しました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、子どもの読書への関心の高まりを受けて、「子ども読書年」である2000年より現在の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)～5月12日に期間を延長しました。開始当時より、図書館・書店・学校を中心に、子どもたちに本を手渡すさまざまな行事が行われてきました。

幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか……。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

第1回は、日本書籍出版協会児童書部会が中心となって開催した「こども読書週間」(4月27日～5月10日)です。この年は、ポスターではなくしおりを作成し、東京都内の書店やデパートで配布したと記録されています。1959年11月に読進協が発足したので、翌1960年の第2回より、読書推進運動協議会が主催団体となり、名称を「こどもの読書週間」、期間を5月1日～14日(こどもの日を含む2週間)と決めました。

よく、「『こどもの読書週間』の『こども』はなぜ、『子ども』ではないのですか?」とのお問い合わせをいただきますが、これは、「こどもの日」に名称をあわせたからです。

「こどもの読書週間」は2000年の「子ども読書年」を機に、現在の4月23日～5月12日の約3週間に期間を延長しました。4月から5月にかけては、「国際子どもの本の日(4月2日)」「サン・ジョルディの日(4月23日)」などの記念日・関連イベントも多く、また、2001年12月に公布・施行の「子ども読書活動推進法」により4月23日が「子ども読書の日」となった影響もあって、「こどもの読書週間」は年々大きな盛りあがりを見せています。



人気の絵本作家、荒井良二さんの絵です。



青少年センターからのお知らせ

～夜間プラネタリウム投映会～

「地球の兄弟星たち～惑星～」

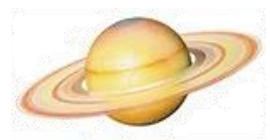
先月まで見ごろだった木星にかわり、来月からは「環」が特徴的な土星が目を楽しませてくれます。このような、わたしたちが生きている地球と同じく太陽の周りを周っている惑星はいったいどのような星なのでしょう? 当日の空に見える星座も紹介していきます。

晴れていれば実際に星を観察しますのでぜひご参加ください。

と き 5月21日(木) 午後6時30分～

ところ 青少年センター2階プラネタリウム室

※夜間開催のため、小・中学生のみでの参加の場合は保護者の同伴もしくは送迎が必要です。



新着図書紹介

ここに書いてある以外にもたくさんの新着図書があります。みなさんどうぞご利用下さい。

一般書

『火花』

又吉 直樹/著



奇想の天才である一方で人間味あふれる神谷、彼を師と慕う後輩徳永。芸人の2人が運命のように出会ってから劇は始まった。

- ・夢をまことに 山本 兼一/著
- ・リバーズ 相場 英雄/著
- ・ブラックアウト 浅田 次郎/著
- ・王様ゲーム 煉獄 11.04 金沢 信明/著
- ・神様の加護 夏川 草介/著
- ・千日のマリヤ 小池 真理子/著
- ・砂漠の青がとける夜 中村 理聖/著

児童書

『あまねく新竜住まう国』

荻原 規子/著



伊豆の流刑地に流された源頼朝。生きる希望を失いがちな頼朝のもとへ、かつて頼朝の命をつなぎとめた笛の名手・草十郎が訪れ…。

- ・3が3 ただいま稽古中 佐藤 多佳子/著
- ・小説・マンガで見つける！すてきな仕事5 学研教育出版編/著
- ・ふたりはおばけのふたご！？ むらい かよ/著
- ・アルプスの少女ハイジ ヨハナ・シュピリ/作
- ・レイトル・カーソン パピルス/文
- ・やろうよバレーボール 熊田 康則/著

実用書

『漂流郵便局』

久保田 沙耶/著



漂流郵便局は届け先のわからない手紙を受け付ける、たったひとつの郵便局です。寄せられた、心をゆさぶる69通の手紙を収録。

- ・親子共依存 尾木 直樹/著
- ・老人喰い 鈴木 大介/著
- ・過剰診断 H.ギルバート・ウェル/著
- ・図解相続税改正早わかり 青木 寿幸/著
- ・主夫になろうよ！ 佐川 光晴/著
- ・ひとり親の子育て 諸富 祥彦/著
- ・食に生きて 辰巳 芳子/著

絵本

『じゅんぴはいいかい』

荒井 良二/作



春の足音が聞こえてくる季節。春の訪れの喜びを鮮やかに描いた、新生活のスタートにふさわしい絵本。

- ・おべんとうはママのおてがみ 田島 かおり/作
- ・なく、おこる 秋山 さと子/文
- ・たんぽぽねこ せな けいこ/作・絵
- ・このおみせなあに はた こうしろう/さく・え
- ・みんなおおきくなった 中川 ひろたか/文
- ・ふねのたび 工藤 リコ/作
- ・まちのおふろやさん とよた かずひこ/さく・え

～図書室からのお知らせ～

■5月の休館日

5月4日【月】～5月6日【水】は祝日と祝日の振替休日の為お休みです

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時（月・水・金・土・日）
午前9時から午後7時（火・木）

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時（月～日）

■絵本の読み聞かせ

おはなしのびっこ 5月28日【木】
午前10時30分から午前11時

■5月の移動図書

8日【金】

上厚真小学校 午前10時35分～10時50分

15日【金】

上厚真小学校 午前10時10分～10時25分

20日【水】

ともいき荘 午後2時00分～2時30分

22日【金】

上厚真小学校 午前10時10分～10時25分

29日【金】

さくら保育園 午前9時50分～10時00分

宮の森保育園 午前10時10分～10時25分

上厚真小学校 午前10時35分～10時50分

☆放課後子ども教室☆

春です。川沿いのヤナギの木の芽がふわふわした冬芽から、緑色の新芽に変わってきました。黄色に輝く福寿草も今年はいつもより早くお目にかかれたように感じています。新年度が始まり、放課後子ども教室も4年目の春を迎えました。子どもたちも学年が一つ上がり、転入生を迎えたクラスもあるようで、気持ちも新たに学校生活を送っているようです。今年度も大きな事故やケガのないよう過ごしていきたいと思います。

放課後教室の新学期は4月8日（水）からスタートしました。高学年の活動日には、これまで低学年の活動日に参加していた新4年生が加わり、雰囲気も大きく変わりました。新4年生が1年生だったところに始まった放課後子ども教室。その学年が今や高学年の活動日に参加する日が来たのかと思うと感慨深いものがあります。新4年生はこれまでとは違い、5～6年生という先輩がいる環境に最初は少し緊張している様子でしたが、帰るころにはすっかりとなじんでいました。低学年の活動日は、新2～3年生での活動となります。新1年生の参加は5月のゴールデンウィーク明け（中央小：5月7日／上厚真小：5月11日）からスタートです。新3年生は活動日の中では最高学年になるんだ、という意識を持っている子が何人か見受けられました。スタッフのお手伝いを申し出てくれたり、話を聞くときに周りでおしゃべりをしている子がいたら注意をしたり、お兄さん・お姉さんの顔つきをしています。これから新1年生が入ってきたとき、またどんなふうに成長していくかが楽しみです。

昨年度末、放課後教室に登録をしている児童の保護者の方を対象に、放課後教室の活動についてアンケート調査を実施しました。モノづくりや自然体験など、家庭や学校だけでは難しい体験活動に対して期待をしているという意見を多くいただきました。一方、宿題をする時間を確保したい、活動日が習い事などと重複していて参加が難しいという声も。これらのアンケート結果も合わせて、スタッフ間で今年度の活動方針を話し合いました。子どもたちの好奇心の芽を育てるようなプログラムの開発、自由時間の使い方の工夫、全学年合同開催日の設定など、出来るところからニーズに応えていきたいと思っています。



体育館でも
パワー全開☆
みんなで体を
動かします！



春のお散歩♪いろんな発見があります

ドミノや積み木タワーに挑戦